

統計研修講義計画書

研修課程	経済予測	講義科目	産業連関表による経済波及効果	講義時間	7コマ
講師	下田 充 (株)日本アプライドリサーチ研究所研究調査部主任研究員				

※1コマ70分

講義のねらい

産業連関表を用いた経済波及効果分析の考え方・手法について、最初は簡単な事例から出発し、最終的には実践が可能なレベルまで達することを目標とする。また、地域産業連関表を用いたシミュレーション及び均衡価格モデルについても講述する。
 (ただし、下記の4. 5. は、進捗状況によっては、いずれかを割愛することがある。)

指導項目と内容

指導項目	内 容
1. 産業連関表の構造・予備知識	<ul style="list-style-type: none"> 産業連関表の見方、構造をざっくりと説明する。
2. 経済波及効果分析1： 4部門表による分析手順の説明と実習	<ul style="list-style-type: none"> 経済波及効果分析の手順を4部門表により解説する。はじめにPPTによる解説を行い、次に、エクセル上で同じことを行っていただくことで、全体の手順を理解する。
3. 経済波及効果分析2： 37部門表を用いた実践的な分析	<ul style="list-style-type: none"> 37部門表を用いて、実践的な事例により分析を行っていく。支出項目と品目分類との対応、域内調達率の考え方等、重要なポイントを確認がてら、自ら分析シートを作成することで、実際に計算ができるだけのスキルも取得する。
4. シミュレーション分析	<ul style="list-style-type: none"> 産業連関表を用いた(域内調達率や移出入の変化に関する)シミュレーションを行う。
5. 均衡価格モデル	<ul style="list-style-type: none"> 均衡価格モデルを説明し、原油価格の変動や消費税率変更の分析例を紹介する。

講義形態 指導方法

講義は、資料(プリント等)に基づく講義と、パソコンを用いた実習を交互に行う。

受講に必要な 基礎知識等

MS-Excelに関する基礎的な操作(文字および数式の入力、コピー&ペースト等)